

m a e n o h a

maekawa living magazine まえのは

2023

一
早
春
号

歴史をつなぐ、私の暮らし。





芦峯寺中宮祈願殿の本殿、立山大宮に通じる参道
で光に包まれながら会話を楽しむ佐伯さんと佐藤。

むつまろ
佐伯 睦麿
立山町／雄山神社 宮司

あのひと
の暮らし

訪ねた人：佐藤 将貴

株式会社 緑溜／埜の家 支配人／
里山マウンテンバイクツーリズム 代表



佐伯 睦麿 SAEKI Mutsumaro

雄山神社の宮司。法政大学在学中に国学院大学の講習会で神職の資格を取得。卒業後、運輸業を主体とする会社に12年間勤務。退職後、国学院大学の専攻科で1年間、改めて祭式という作法や実務、概念などを学び、専門の神職となる。



右：映画鑑賞を楽しむためのプロジェクター。コードが表に出ないよう、佐伯さん自らが設置した。左：決まった休みはないが、バイクに乗るのも好き。

これからも地域の人たちとともに。

富山では、この土地ならではの歴史や風土を受け継ぎながら、日々、新しいまちの魅力が創り出されています。前川建築のスタッフが、仕事や暮らしの中で出会った魅力的な方たちをご紹介しますこのコーナー。

天に向かってまっすぐ伸びる、樹齢約500年の杉木立。澄み切った空気に包まれたここは、立山信仰の里・芦峯寺に鎮座する雄山神社中宮祈願殿である。「宮司とは会社という社長のことなんです」と話す佐伯さんは、毎朝8時前後に朝一のお参り「御日供祭」を職員とともにすることから、宮司としての一日の仕事を始める。また、春と秋の

神社のお祭りや新嘗祭のほか、厄除けや身体健康、家内安全、商売繁盛などのご祈禱、雑務なども行っている。佐藤は約8年前に家族と共に富山へ移住し、これまでで「プレイベートで150回ほど同祈願殿を訪れている。「いつも息子を連れてお参りに来るのですが、いつも神主さんがいらっしやいますね」と微笑む佐藤に対し、

「朱印を目的にお越しになる人のために、必ず誰かが常駐する形にしています。一生に一回しか来られないかもしれないので」と佐伯さんも笑顔を返す。かつて同祈願殿のそばには、修験者や行者の住居である宿坊がずらりと並んでいた。往時の名残を残す場所に、佐伯さんが暮らす自宅がある。「一昨年、前川建築さんに改修してもらい



「神職の家には、必ず神殿に近いものがあります。小さい神棚1個というのはありません」と佐伯さん。



立山連峰の主峰・雄山に鎮座する立山頂上峰本社。毎年訪れるたび、美しい夕日を目に焼き付け記憶に刻む。

約100日間は立山山頂で暮らしている。運営管理をメインに、人手が足りない時には登拝券の出札や賄い係などの役割も担う。『今まで一番大変だったのは、2〜3ヶ月賄い係をした時ですね。』宮司さんいらっしゃいますか?』と聞かれて、エプロン姿のまま返事をして(笑)おかげで料理上手になりましたよ」と微笑む。また、高山病や怪我を負った人には社務所で手当てをするなど、登山者の安全も守っている。ここでは10人以上が生活しているため、日が経つにつれ日用品などが不足していく。2週間に1度下山して買い出しをし、荷物を梱包するという仕事もしているそうだ。

佐伯さんの話を終始嬉しそうに聞く佐藤は、立山連峰の麓をE-MTBで巡るガイド付きツアー「里山マウンテンバイクシリーズ」を運営し、里山の魅力や歴史を参加者に伝えている。『先日は、立山本宮や立山信仰の話をしました。歴史を



梁に刻まれた彫りは、改修前の彫刻を模したものの。その古い梁も師られている。

ましたが、室温がちょうどよく湿気がないのが一番。濡れたスキーウェアやアウターなどをしまえる乾燥室も便利です」と微笑む。

現代的な快適性を享受しながらも、毎朝ここで神様に「ご飯とお茶をお供えることは欠かさない。ご飯は炊き立てで、お茶は一番茶。また、親戚や友人知人からお祝いやお土産をもらった時も、最初に神様にお供えをする。子どもの頃にその大切さをこ両親から教わった佐伯さん。今は、自身のお子さんにも伝えている。『物事を進める時に神様を一番に考えることが、宮司として最も大切にしていることです。』



あしくらじ

雄山神社 芦峯寺中宮祈願殿

〒930-1406
富山県中新川郡立山町芦峯寺2番地
Tel: 076-482-1059
<http://www.oyamajinja.org/>

勉強したこともあって、佐伯さんに会えることが楽しみだったんです」と喜びを隠せない。

神が住む山として崇められている立山。佐伯さんは、その山を開いたとされる佐伯有頼公の子孫である。『私の父も祖父も曾祖父も立山頂上峰本社に行っていました。あそこにいること自体が、先祖様からの流れの中にあることの証に思えます。そして神様との距離が近づいていくのを感じられます。とはいえ、神社はあくまでもその地域や、氏子の人たちのもの。これからも地域に馴染んだ存在であり続けたいですね』と優しく微笑む。✿

※ E-MTB: 電動アシストが付いたマウンテンバイク。年齢や体力を気にせずに、里山トレイルが楽しめる。

雄山神社は、芦峯寺中宮祈願殿だけではなく、岩峯前立社壇、立山頂上峰本社の三社殿から成り立っている。毎年7月1日の夏山開きに神事を執り行うことも、大切な勤めだ。開山期間は9月30日までだが、準備や片付けなどのために6月20日過ぎから10月の第1週頃までの

そう話す佐伯さんは、子どもの頃から跡を継ぐことを当たり前のように思っていたという。学生時代には今の仕事に必要な資格を取得したが、「神社以外の世界を見ておきたい」と、あえてサラリーマンを経験したうえで現在の本職に就いた。



「明治2年、水橋に日本最長の棧橋が作られました。水橋にはその棧橋を書いた地域バージョンのマップがあるんですよ」と佐藤。



1 January

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1 元日	2 振替休日	3	4	5	6	7
8	9 成人の日	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2 February

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 建国記念の日
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 天皇誕生日	24	25
26	27	28				

3 March

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21 春分の日	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

4 April

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29 昭和の日
30						



tips:1

外壁には、天然成分を原料とし、木材を長持ちさせる塗料「ウッドロングエコ」を使用。



tips:2

木材の購入から切断、組み立て、塗装まで、家族みんなでゼロから作り上げた薪棚。



tips:3

「私が作りたいものを楽しんで作っているだけ」と笑顔で話す奥様の手作りカレンダー。



tips:4

「モメンタムファクトリーorii」の照明。高岡銅器の伝統的な着色技法が空間に調和。



1 奥様が珈琲を豆から挽き、丁寧に淹れるのは人と人をつなぐため。2 「薪ストーブがすぐそばにあるので、特に鍋料理などを温める時に便利ですね」と奥様。3,4 キッチンにある土鍋や奥様お手製の梅干しからは、「手仕事を通して物作りや食べ物の大切さを伝え、少しでも人や地球に優しい選択をしていきたい」という奥様の思いが伝わってくる。5 猫を飼うことになったのは、この家に暮らし始めてから。ご主人がDIYしたキャットタワーが猫たちのテリトリー。「2匹は仲良しなので、見ていると和みますね」とご主人。6 奥様のお母様の手で、ススキがリースに。愛情と知恵が詰まった作品も空間を彩っている。7 ご主人のお気に入り、車やバイク、自転車などを置けるガレージ。ここからご主人の隠れ部屋に行くことも可能。



大きなひとつの空間で過ごすS様ご家族。それぞれが違うことをしていても、常に家族を感じられる。

あの家の 住まい方

射水市・S様邸

2018年新築

奥様が厳選した高岡銅器の照明や、奥様のお母様とお姉様が手作りしたリースやドライフラワーが、無垢材の温もりにしっくりと馴染むS様邸。薪ストーブのある家で育ってきた奥様は、この住まいにも自然の素材で暖を取る暮らしを取り入れた。ご主人も「薪ストーブのある生活は初めてでしたが、想像以上に暖かくて落ち着きますね」とお気に入りの様子だ。薪ストーブのあるLDKは、ひとつの大きな空間。その一角にあるL字型のキッチンには、炊飯器がない。契約農家から無農薬栽培米を仕入れ、自家精米して土鍋でご飯を炊いているそう。だ。「分つき米にすると栄養が豊富なので、朝はご飯と味噌汁だけなんです」と話しながら、珈琲を豆から挽く奥様。ゲストだけでなく、家族にもそうやって供している。キッチンで調理しながらお子様たちにも目が届くのもいい。遊んでいる時も、どんな時も気配を感じられる。お子様

たちも奥様の台所仕事を近くで見られるからか、果物の皮剥きなどお手伝いにも意欲的。ミシンで雑巾を縫ったり空き箱で工作をしたり、物作りが大好きだ。それらの作品が随所に飾られているのも微笑ましい。「子どもが成長して家も成長していくのがいいな」と、ご主人は木材を購入してキャットタワーを作ったり、物干し用のフックを探したりして、家そのものをアップデートしている。

みんなの手作りに満ちたLDKは、ママたちの集まる場所でもあり、毎冬にはリースやしめ縄づくりを開催している。「子どもたち同士で遊びに夢中になり、お母さんたちは自分の世界に夢中になれる。日々多忙なお母さんたちがリラックスして楽しめる場所、そして優しい繋がりが生まれる場所になれたら」と奥様。

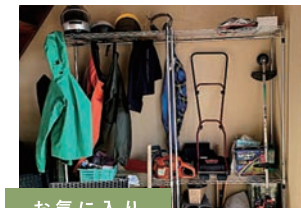
日常への知恵、家族や友人知人への愛情に満ちたS様邸。これからもたくさんさんの安心と笑顔を育んでいく。✿

スタッフ紹介

MAEKAWAグループのスタッフに、休日の過ごし方や、お気に入りのモノ・コトを聞きました。

HORI Keisuke
堀啓介 ● niwanosoディレクター

東京で生まれ育ち、富山へ移住しました。立山連峰から富山湾までの素晴らしい景色が好きです。外構工事などを通して、富山ならではの豊かな暮らし方を提案していきたいですね。自宅は中古住宅をリノベーション。ウッドデッキと庭を設けて、室内外の境界線をなくしました。天気が良いと、除草や芝の手入れなどやるのがいっぱい。自然とふれあう暮らしがしたくて移住しましたから。こっぴど外に出ていると、近所の人とコミュニケーションを取れるのもいいですね。もっと地域に馴染んでいきたいです。



お気に入り

モノにはこだわりのない性分で、人からもらったモノの方が長持ちするんです。この棚は、前の住人の置き土産。チェーンソーなどを入れて使っています。

豊かな自然と
ふれあう暮らしを
自分も、お客様にも

ISHIGAKI Kyoko
石垣恭子 ● (株)コノカ設計

高校生の時、6畳の部屋を妹と一緒に使っていました。そんな時に初めてモデルハウスを訪れ、光が差し込む個室に憧れを抱いたことが、今の仕事につながっています。将来、妹夫婦が実家に戻ってきた際には、家族が楽しく暮らせる住まいにリノベーションしたいですね。



お気に入り

愛用しているuniジェットストリームシリーズのペン。通常のペンよりペン先が細いので、細かい文字を書くのに最適です。なめらかな書き心地もクセになります。

深いつながりを
今日も明日も
ずっと大切に

今まで“みつろうワックス”をオススメしてきた前川建築。でも、お手入れが大変との声も…。そこで新たに、モップで塗布できる、無垢の床用のフロアワックス「Bonaフロアクリーナーとポリッシュ」をご紹介します！

◆日常のお手入れ (何かをこぼしたり、汚れが気になった時に)

- ①掃除機でゴミやホコリを取り除きます。
- ②床にBonaフロアクリーナーを直接スプレーします。クリーニングマットを付けたモップで細かいホコリや汚れを取り除き、拭き上げます。

◆スペシャルなお手入れ (年に1度、大掃除の時などに)

- ①掃除機でゴミやホコリを取り除きます。
- ②Bonaフロアクリーナーで細かいホコリや汚れを取り除き拭き上げます。
- ③フロアが乾いたらBonaポリッシュを撒き、クリーナー用とは別のクリーニングマットをモップにつけて拭き上げます。薄く延ばして2度塗りすると、よりきれいに仕上がります。

※ポリッシュを使用したクリーニングマットは使用後すぐに水洗いしてください。放置するとワックス成分が固まり使用できなくなってしまいます。一晩水につけおきするとさらに効果的です。



(右) Bonaフロアクリーナー

そのまま使えるReady-to-useタイプの速乾性クリーナーで、洗剤成分が床に残らず、床のゴミやホコリ、汚れを安全に取り除きます。

(左) Bonaポリッシュ マット

ローグロス(つや消し)タイプのフローリング保護剤です。保護層を形成することで細かい傷が目立たなくなり、床の外観を均一にします。

その他、別売りの「クリーニングマット」「モップ」も掃除がしやすくオススメです！

information



前川建築は、創業からもうすぐ70年。新築事業の「木の香(株)前川建築」の法人化から10年。長きにわたり地元で根付いた工務店として活動してまいりました。いまでは、リノベーション・不動産事業の「(株)コノカ」、グリーン事業の「niwanoso」など事業の幅を広げ、豊かな暮らしを提案していく企業として、たくさんのお客様とのご縁が広がっています。せっかくいただいたご縁です。住まい手の皆さまに、

より末永く豊かな暮らしを感じてもらいたい。そこでこの度、前川グループは「MAEKAWA オーナーズクラブ」を発足します。暮らしのサポートはもちろん、住まい手の皆さま同士で気軽に情報交換ができるようなイベントなども企画してまいります。このオーナーズクラブの参加条件は「前川グループの建物の住まい手」という事だけ！年会費や登録等は必要ありません。ぜひお気軽にご利用、ご参加ください。

【イベント内容】 リラックスイベント／バーベキュー／ゴルフ等野外イベント／前川グループ感謝祭…等を予定

編集後記

新しい年になりました。皆さまにとって素晴らしい1年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。ご報告がひとつ。昨年11月に開催したオーナー様感謝祭で端材の販売やフリーマーケットを行いました。その売上金6,375円を、(公社)とやま緑化推進機構の「緑の募金」に寄付いたしました。沢山のご参加、誠にありがとうございました。富山で木の家をつくる工務店として、富山県の森林整備や緑化推進など、緑を守る活動を今後も続けていきたいと思っています。



m a e n o h a 2023 早春号

2023年1月1日発行

企画・取材・文／まえのは編集部

編集／河岸 素子

写真／松井 洋貴

イラストレーション／おざわ さよこ

エディトリアルデザイン／三浦 由佳(ワークス)

発行／MAEKAWAグループ

〒930-3221 富山県中新川郡立山町四谷尾691-4

Tel: 076-462-0611

<https://maekawa-kenchiku.com/>



表紙写真：雄山神社宮司、佐伯さんのご自宅玄関の格天井(ごうてんじょう)。